

年報 Vol.43 目次

I. 巻頭言	1
II. 概要	
1. 組織（組織図、運営委員名、所員一覧）	2
2. 予算概況（経費、研究費）	7
3. 図書	12
4. サル類飼育頭数・動態	14
5. 資料	15
6. 人事異動	18
7. 海外渡航	18
8. 非常勤講師	24
9. リサーチ・アシスタント（R・A）	24
10. ティーチング・アシスタント（T・A）	24
11. 年間スケジュール	25
III. 研究活動	
1. 研究部門・寄附研究部門・附属施設等	
進化系統研究部門（進化形態、ゲノム多様性、系統発生）	26
社会生態研究部門（生態保全、社会進化）	35
行動神経研究部門（思考言語、認知学習、高次脳機能）	42
分子生理研究部門（統合脳システム、遺伝子情報）	55
附属施設（人類進化モデル研究センター、国際共同先端研究センター）	61
白眉プロジェクト	70
ヒト科3種比較研究プロジェクト	72
長期野外研究プロジェクト	73
2. 交流協定	75
3. 学位取得者と論文題目	75
4. 外国人研究員・研修員	76
5. 日本人研究員・研修員	77
6. 研究集会（所内談話会）	77
7. 霊長類学総合ゼミナール 2012	78
IV. 大型プロジェクト	
1. 若手研究者インターナショナルトレーニング・プログラム (ITP-HOPE)	80
2. 組織的な若手研究者等海外派遣プログラム (AS-HOPE)	81
3. 最先端研究基盤事業：心の先端研究のための連携拠点（WISH）構築	83
4. アジア・アフリカ学術基盤形成事業：ヒト科類人猿の環境適応機構の比較研究	83
5. 高人口密度地域における孤立した霊長類個体群の持続的保護管理に関する研究（環境研究総合推進費）	84
6. 頭脳循環プログラム「人間らしさの霊長類的起源をさぐる戦略的国際共同研究」	85
7. 人間の進化	85
V. 広報活動	
1. 公開講座	87
2. 市民公開日	87
3. オープンキャンパス・大学院ガイダンス	87
VI. ナショナルバイオリソースプロジェクト	
1. NBR	87
2. GAIN	88
VII. 共同利用研究	
1. 概要	89
2. 研究成果（(1) 計画研究, (2) 一般個人研究, (3) 一般グループ研究, (4) 随時募集研究, (5) 震災関連）	90
3. 平成 23 年度で終了した計画利用研究	120
4. 共同利用研究会	
第 41 回ホミニゼーション研究会「成長と加齢」	121
「生態系における霊長類の役割」	122
「どうなる野生動物！東日本大震災の影響を考える」	123
「第 8 回犬山比較社会認知シンポジウム」	123

2012年11月13日

発行者 京都大学霊長類研究所
〒484-8506 愛知県犬山市官林41番地の2
<http://www.pri.kyoto-u.ac.jp>
nenpo@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

編集 自己点検・評価委員会
正高信男，湯本貴和
早川敏之，足立幾磨
編集担当：足立幾磨，辻智子

印刷所 株式会社コームラ
<http://www.kohmura.co.jp>
〒501-2517 岐阜県岐阜市三輪ぷりんとぴあ3
TEL：058-229-5858